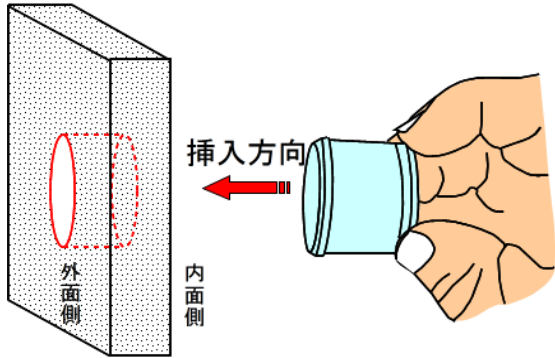


シリコンプラグ挿入に関する基本的条件

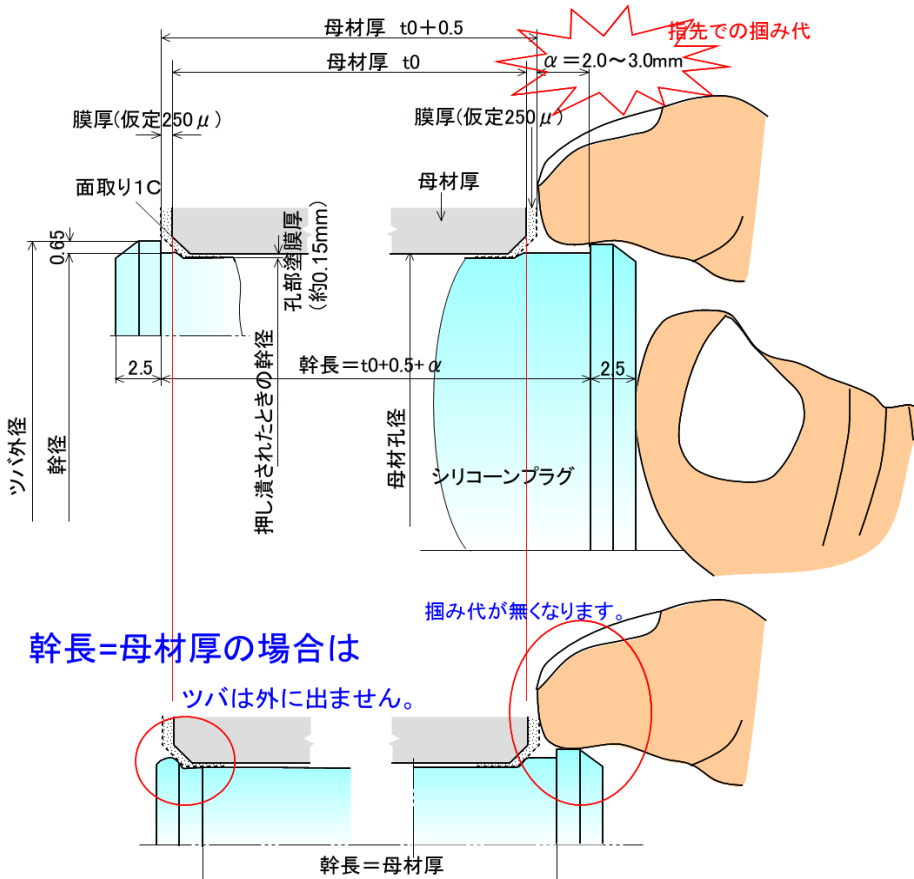
株式会社 K・S・マスターズ
 清水 健介
 〒143-0025 東京都大田区南馬込3-7-2
 TEL: 03-3778-2892 FAX: 03-6429-7081

内面側からの挿入となった場合



最近、シリコン栓の外ツバが外面側に出ていないという話が発注者側から聞かされます。その原因の一つは設計図に「幹長=母材厚+0.5mm」と指示されたときに発生します。なぜか？と言いますと摘み代がないためツバが外に出ることができないということになります。時間が経ってからの製品は母材孔に固着しており、引き抜きは難しく切り裂いて取り除くか、太めの「足長よーと」をねじ込み強引に引き抜くしか方法はありません。大変面倒な作業となりますので幹長決定には十分配慮する必要があります。

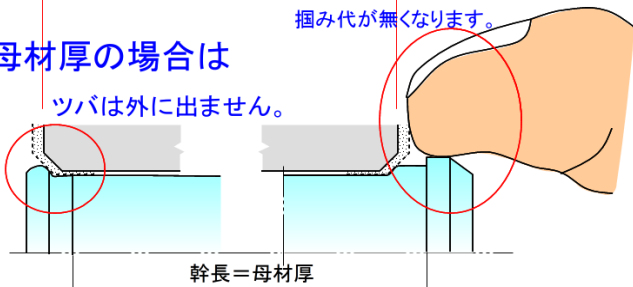
シリコンプラグを指先で摘んで足場孔を閉塞するとき、製品の摘み代は幹部で2.0~3.0mm、ツバ厚2.5mmを加え約5mm前後となります。したがって、挿入後の完成状態は下図に示すように内面側にゴム製品は出っ張ってきます。



母材孔部とゴム製品周辺に石鹼水を附着させ製品を滑りやすくします。製品を指先で摘んだ時、石鹼水は指先まで垂れてきますので素早く挿入することをお勧めします。指先が「ぬるぬる」し出すと「指先感覚」が鈍ってきます。外面側にツバが出たかどうかの確認は慎重に、そして引き戻すといった時の作業は爪を立てて滑りを食い止めることをお勧めいたします。

幹長=母材厚の場合は

ツバは外に出ません。



幹長=母材厚の場合は摘み代がないため外面側にツバを出すことができません。無理に押し込むと「外ツバが出すぎたり」または「製品が勢いよく外に飛び出したりする」といった問題が出てきます。